

## 第1回田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会 会議録

1 日 時 令和4年(2022年)5月26日(木) 19:00~20:30

2 場 所 長浦コミュニティセンター 集会室兼体育室

3 出席委員 11人

4 事務局等	教育総務部	部長	古谷	久乃
	学校教育部	部長	米持	正伸
	教育政策課	課長	飯田	達也
	教育政策課	主査	大堀	圭輔
	教育政策課	担当者	丸山	昇悟
	教職員課	課長	平石	拓
	学校管理課	課長	二見	裕
	教育指導課	課長	川上	誠
	支援教育課	課長	小谷	亜弓

田浦行政センター 館長 依田 隆治(オブザーバー)

横須賀市立小中学校適正配置審議会 委員 櫻井 聡

5 傍聴者 8名

6 議事内容

### ○飯田教育政策課長(事務局)

みなさん、こんばんは。それでは、定刻となりましたので第1回田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会を始めます。

会議を開催する前に、傍聴及び会議録について確認します。本協議会は、「地域別小中学校教育環境整備協議会の傍聴に関する実施要領」に基づいて、傍聴を認めています。また、会議録については公開します。会議録作成のために、録音します。

委員の皆さま、よろしいでしょうか。

《 各委員から異議なしの声 》

傍聴の方は、ご入室ください。

それでは、次第に沿いまして、1の教育総務部長あいさつです。

《 古谷教育総務部長あいさつ 》

### ○飯田教育政策課長（事務局）

続きまして、本日が第1回目の田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会となりますので、委員の皆さまを事務局から紹介します。座席の順にお名前をお呼びします。

《 各委員を紹介 》

委員の皆さま、ありがとうございました。

続きまして、教育委員会事務局、オブザーバー、横須賀市立小中学校適正配置審議会委員の出席者を紹介します。

《 教育委員会事務局、オブザーバー、横須賀市立小中学校適正配置審議会委員の出席者を紹介 》

それでは、議事に入る前に、会議資料について確認します。

《 会議資料を確認 》

それでは、資料1「地域別小中学校教育環境整備検討協議会設置要綱」をご覧ください。この要綱は、本協議会の設置や運営などについて規定しているものです。この要綱に基づき、本協議会を運営して参ります。

要綱では、資料の中程になりますが、「第3条第1項」で「協議会に委員長を置き、委員が互選する。」と規定しています。

また、第2項で「委員長は、会務を総理し、会議の議長となる」と規定していますので、委員長選任後は、委員長に会議の進行をお願いすることになります。

そのため、まず委員の皆さまの中から、委員長をお選びいただきたいと思います  
が、どなたかご意見はありますでしょうか。

《 地域別小中学校教育環境整備検討協議会設置要綱に基づき、委員長を選出 》

○飯田教育政策課長（事務局）

続いて、「要綱第3条3項」に「委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理する」とありますので、委員長から指名をいただければと思いますが、委員長いかがでしょうか。

≪ 地域別小中学校教育環境整備検討協議会設置要綱に基づき、委員長職務代理者を選出 ≫

○飯田教育政策課長（事務局）

それでは、本日の議事を進める準備が整いましたので、改めて第1回田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会を開催します。

「地域別小中学校教育環境整備検討協議会設置要綱」第4条第2項の規定により、本協議会の開催にあたっては、半数以上の委員の出席が必要となりますが、本日は、委員12名中11名が出席されていますので、本協議会は成立しています。

なお、各委員に置かれましては、ご発言される際にマイクの使用をお願いします。

それでは、これより進行を委員長にお願いしまして、議事を進めていきます。委員長よろしくをお願いします。

（委員長）

それでは次第の4、議事に入ります。事務局から説明をお願いします。

≪ 資料3、4及び横須賀市立小中学校適正配置審議会の会議の概要（未定稿）について事務局から説明 ≫

（委員長）

ただいま事務局から説明がありました内容について、ご質問やご意見がありましたら、挙手でお願いします。

（委員）

田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会の設置目的を教えてくださいませんか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

本協議会の設置目的は、資料1に記載されているとおり、横須賀市立小中学校適正

配置審議会の求めに応じて該当地域における課題や改善策等に対する意見を聴取することにより、地域の実情に応じた教育環境の整備を行うこととしており、地域の実情を踏まえたそれぞれの立場からの意見を伺う会という位置づけになっています。

その意見に基づき横須賀市立小中学校適正配置審議会で検討し、教育委員会に答申します。その答申に基づき教育委員会は方策を決定する流れになっています。

#### (委員)

長浦小と田浦小の統合ありきなのでしょうか。船越小も含めて10年スパンで方策を考えているのでしょうか。本協議会の意見が横須賀市立小中学校適正配置審議会に上がって、ゼロベースでの対応を考えているのか教えていただけますでしょうか。

#### ○大堀教育政策課主査(事務局)

統合ありきとして検討はしませんが、基本的に教育環境整備計画の対象校は、田浦小と長浦小です。田浦小の老朽化と小規模化、長浦小の小規模化を課題として考えていますので、まずは、両校についての方策を検討していきます。

船越小についても、課題を掲載していますが、将来的な課題として考えていますので、段階的に検討していきます。

#### (委員)

今後の児童数の減少が見込まれている中で、船越小についても建物の一部がレッドゾーンに該当しています。令和10年度の田浦小、長浦小、船越小の児童数の合計が435人と見込まれています。長浦小と田浦小が統合しても300人未満のため、将来的な部分を見て船越小も含めて検討したほうが良いのではないのでしょうか。

子どもが田浦小に通学しており、以前配られたプリントで、令和8年に話がまとまれば、田浦小が無くなるという内容を拝見しました。

そのペースでいくと、自分の子が卒業するまでに別の学校に通うことになります。仮にもう一人子どもがいて、入学すると再度、別の学校へ通うことになり、1家庭で2回学校が変わってしまうことはどうなのかなと思います。

将来的な推計値を出していただいているので、船越小も含めて検討をしていただければと思います。

#### ○大堀教育政策課主査(事務局)

3校同時に検討という意見もいただいているのですが、使用できる教室数の問題もありますので、段階的に検討していくものと考えています。

地域によっては、3校、4校同時に検討を進める地域もあると思いますが、地域の実情を踏まえて、検討の範囲が変わってくると思っています。

(委員長)

各委員が意見や質問を持ち帰った場合の対応は何か考えていますでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

今回出せなかったご意見は、電話やメール等でご連絡いただければ、次回以降の場でご回答、お知らせすることは可能です。

(委員長)

お考えいただいたご意見について、日が経ってしまうと、議事録に載らないこともあると思うので、遅くとも、質問があれば、5月30日（月）あたりにご連絡したほうがよろしいでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

ご意見をいただく期限は設けておりませんので、いただいた状況、タイミングに応じて、それぞれ回答させていただきたいと思います。

(委員)

具体的なスケジュールを聞かせていただけますでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

各地域小中学校教育環境整備検討協議会は今年度にそれぞれ5回程度、1・2カ月に1度のペースで開催する予定で、横須賀市立小中学校適正配置審議会については年3回を予定している。進捗状況によって開催回数も変わるので、あくまで目安となります。

(委員)

田浦小をいつ検討して、いつまでに統廃合するのかのスケジュールを聞かせていただけますでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

統廃合のスケジュールは未定です。

過去の事例では、地域別の検討協議会で1年半検討し、統合を決定し、その後すぐに統合するのではなく、円滑な統合に向けて、両校の児童や保護者、先生、地域、PTA等の交流・調整を行うための統合推進連絡協議会を1年半かけて行い、計3年かけて、統合しています。

(委員)

委員がこの場で何を検討するのか、よく分かっていません。

教育委員会では、田浦小と長浦小を統合するプランがあるのでしょうか。土地があれば建て替えができるのか、この場で統合するかしないかを話し始めるのかよく分かりません。

統合が最善の策だということであれば、子どもの通学の安全対策や防犯、地域の避難場所等の前向きな話しができる協議会になるのかなと思います。

統合するかしないか、良い事なのか悪い事なのか、という話をするのであれば、過去の事例のスケジュールだと到底話が完結しないのではないかと個人的には思っています。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

両校の課題について、統合ありきでご提示はできない状況にありました。

方針を先に決定してしまったために、反対があり、検討が進まないという他都市の事例も聞いています。

地域の実情を考えますと、方策の一つとして統合しかないのかなと思っています。

田浦小については、老朽化が進み、敷地が狭く、校舎がレッドゾーンに掛かっており、周辺の道路が狭いため、建替えを行う際に道路の幅を一定以上確保しなければならず、その分敷地が狭くなってしまいます。そのような状況から学校の活動を継続しながらその場で建て替えるのが不可能であると考えています。建て替える場所がない、というところから長浦小との統合が方策として最もよろしいのではないかと考えています。

1回目の本協議会の場で、事前に方策をお示しできなかったことについては、申し訳ございません。可能であれば、統合するかしないかではなく、こちらの方策の考え方をベースに色々なご意見をいただければと思います。

#### ○飯田教育政策課長（事務局）

ある程度の方策案をお示したほうが議論しやすいことが分かりました。

次回、いくつか数字も踏まえた案をお示しできたらと思っていますので、今日は、現状を説明させていただければと思います。

(委員)

個人的に両地域に児童数が少ない、クラスにある程度の人数がいるということは、子どもの学びの成長に必要不可欠だと思います。委員の皆さまへ私からの厚かましいお願いですけれども、子どもたちが新しい学校、環境になったときに、より健やかに生活ができるように活発なご意見をお出しいただきますようお願いいたします。

(委員)

他都市の事例も踏まえて、建替えが必要な場合、狭小な校舎での建て替えをする場合、老朽化で建替えをする場合はどうしているのか。具体例を出していただけるとありがたいなと思います。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

直近で建替えをしたのは諏訪小学校です。敷地が広くスペースを十分に確保できたため、同じ敷地内の別の場所に建て替えて前の校舎を壊すことができました。昭和50年代に建てられた学校が多くあるため、老朽化の対応の実例としてはまだないです。

(委員)

他都市の事例をいくつかあげていただいて、具体例をあげていただけるとありがたいです。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

次回、ご報告させていただければと思います。

(委員)

小学校を担う立場としては、子どもたちを第一に考えていきたいと思います。子どもたちの安全もそうですし、気持ちの部分も考えなくてはいけないと思います。

将来的に考えたときに、1家庭において2回学校の変更があるのはどうかというお話がありましたが、段階的には言いながら、もう少し子どもたちの気持ちが前向きになるような形ができないかなと思っています。

具体的に申しますと、教育環境整備計画の15ページに課題の概要の中で、田浦中は、遠距離通学の地域があると記載されています。具体的には、長浦の地域がこれに当たるのではないかなと思っています。ですから、思い切って、長浦小の場所に中学校を、そして田浦中の場所に小学校を新設し、小中一貫型小・中学校が立ち上がれば、子どもたちも新しい教育環境としてわくわくしますし、そんなことが考えられないかなと思っています。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

中学校敷地に小学校を建てて、併設型の小中一貫型小・中学校を建てるのは一つ形になるのではないかなと思います。一つの案として承ります。

(委員)

子どもの社会は残酷な部分があります。何々組といったグループがあり、君はこの

組じゃないということがあると思います。合併となると、入ってくるときにいざこざが、子どもの世界ではよくあるのではないかと感じます。

新校設立は妙案だと思います。新たな学校にぱっと入るのは、一から始まることを子どもに理解させてあげるのには必要ではないかと思っています。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

仮に統合や新しい学校を建てた場合において、いずれにしても子どもたちの負担にならないように行っていきます。仮に統合した場合は、例えば、1年半くらいかけて両校の交流をして、ハード面ではない運用の面に対応も考えながら検討を進めたいと思います。

#### （委員）

田浦小と長浦小が統合した場合、小学生の遠距離通学となる距離は具体的にどのくらいになるのか教えていただければと思います。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

田浦小と長浦小が統合した場合、最長でも3km程度を想定しています。エリアとしては、港が丘1丁目や田浦泉町、田浦大作町の一番奥から測って3km程度となります。ただ、そこ奥の場所には子どもがいないので、エリアとした際の最長は3km程度です。また、エリアによっては、国道16号線まで出てくるのに距離があります。

#### （委員）

6年生であれば3kmを通学できるのかなと思いますけれども、1年生で3kmの通学は少し心配です。

#### （委員）

距離の面で、長浦小学校区と田浦小学校区が統合することは分かりますが、田浦小学校区を分割するという事は、考えられないでしょうか。

例えば、田浦町4・5・6丁目を船越小学校区としたり、中間をとって半分半分にしたりなどの案はありますでしょうか。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

現状の田浦小学校区を長浦小学校区にするということもありますが、距離や線引きの問題もあると思います。その点について、ご意見をいただきたいと思っています。

例えば、半分であったり、船越小に寄っている地域を船越小学校区にしたりする場



合、距離の問題や町内会等の区分や地域活動もあると思いますので、地域の方々からご意見をいただいて、全体的に変えるのか、田浦小の一部を船越小、一部を長浦小にするのかといったご意見をいただければと思います。

(委員)

田浦小学校区を半分に分けてしまうと、田浦連合自治会は無くなってしまいます。今まで活動してきた、田浦小の運動会等のみんなやっていた行事が何もができなくなってしまいます。それについては、絶対反対です。

(委員)

通学距離について、仮に田浦小学校区を分けたとしても、田浦泉町と田浦大作町については、必ず国道に出て通学しますので、3kmという距離は解消できないと考えています。

(委員)

仮に先ほど話しにあがっていた、田浦小の子どもが長浦小に来た時の様々な懸念や心配があるのはごもっともだと思います。ただ、そうなった場合、長浦小が優位なわけではなく、しっかり指導して、快く受け入れたいと思っています。そのような変化を乗り越えることで子どもたちは、より良く成長できると思います。

小規模について、100人台でもより良い教育ができるように一生懸命やっていますが、統合すれば、単学級が2学級となりで倍になります。もっとより良い教育を目指していける余地があると思います。

現在、長浦小の3年生は男2人、女15人となっていますが、昨年まで男1人でした。小規模だとこのようなことが起こりますが、このようなアンバランスが解消されることも教育的にはとてもメリットだと思いました。

(委員)

レッドゾーンや小規模で議論しているが、教育で一番大事なことは何でしょうか。人数が少なく、1年生から6年生まで、同じ顔を見て成長していくことが、学校教育として良いことなのでしょうか。このままで良いと思っているのでしょうか。児童数が少ないから統合だと言っているのでしょうか。何が問題で改善しなければならないのか、田浦小も長浦小も同じような状況で、切磋琢磨できないだろうし、人数が多ければ良いというわけでもないと思いますし、横須賀市の財源が無いから統合しようというわけではないと思います。

一番重要なことは、学校教育の質を上げることだと思います。

### ○米持学校教育部長（事務局）

一定規模の学校でないと、できないことがさまざまあると思っています。子どもだけでなく大人もそうですが、他者と関わって他者から色々なことを学び成長していく。その機会は、必ず全ての人間が平等というわけではないですが、あまりに差が大きいというのは、良くないと思います。

例えば、10人以下の少人数である場合、小学校6年間、365日に6年間を掛け合わせた、2000日以上の間、少ない人間関係で過ごしていくことが起きるわけです。規模が大きな学校では、色々な人間や先生に出会い、クラス替えもあります。子どもの教育を考えると、ある一定の学校規模をきちんと保つことが重要だと思います。

### （委員）

北陸の福井県などは、比較的人口は少ないと思うのだが、学力は横須賀よりも高いと聞いている。このあたりの精査はされているのでしょうか。

### ○米持学校教育部長（事務局）

全国学力学習状況調査のことをおっしゃっているのだと思います。この調査では、福井県なら福井県全体の、神奈川県なら神奈川県全体の平均値が出ます。ものすごく高い得点の集団と、ものすごく低い得点の集団の平均値と中程度の得点の集団の平均値は同じとなることから、平均値だけではその集団の学力の状況を語ることはできないと思っています。

横須賀市ではどう考えているかといいますと、この調査で測定する学力、漢字が書けたり計算ができたりといった学力も身に着けてほしいと思いますが、これに加えて、身に着けた学力を他者に発表したり、意見交換したり、発信したりする能力も身に着けてほしいと思っています。そして、やがて子どもたちは横須賀市から全国や世界に出ていくかもしれないので、いろいろな場所で活躍できる力を身に着けてほしいと思っています。

### （委員）

学校規模は二の次だと思っています。その学校の環境で、学校が好きで勉強して遊んだりしています。そこで教職員がいかに学校生活を充実させるか、知恵を絞ってやっている。人数がどうだからマイナスだとは思っていません。

田浦小の一番の課題としては、校舎の安全面であり、もう少し良い環境を提供できればと思います。

### （委員）

田浦小と長浦小の統合において、行政区の壁は関係しているのでしょうか。

田浦小は船越小と統合し、長浦小は逸見小、沢山小と統合するとバランスが取れるのではないかと考えています。教育環境整備計画の後期計画では、逸見小、沢山小、桜小、汐入小が対象となっていますが、逸見小、沢山小だったら田浦小に来やすいのではないかと思います。

行政区の壁を越えるのは難しいのでしょうか。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

行政区ではなく、中学校区で考えています。船越小、田浦小、長浦小は田浦中学校校区です。後期計画の対象校である、逸見小、沢山小、桜小、汐入小は坂本中学校校区です。横須賀市では小中一貫教育を推進しており、小学校と中学校の9年間で学びを繋いで子どもを育てていこうとしています。

小学校区と中学校区が一致していた方が、小中一貫教育を推進しやすいと考えています。

例えば、長浦小と逸見小、沢山小が統合するという話しになると、田浦中と坂本中のどちらの中学校となるのかという話になりますので、中学校区も考えながら検討していきますので行政区で分けているわけではありません。

#### （委員）

長浦小を卒業した子どもは田浦中に電車で通学しています。逸見小や沢山小からであれば、京急田浦駅まで出やすいため、意見を出させていただきました。

#### （委員）

私の上の子どもが長浦小を卒業し田浦中に電車で通学していました。

何かあったときは、歩いて帰ってくることも多くあり、遠くてトンネルもいくつか通り、小中一貫型小・中学校というお話がありましたが、小学校の敷地に中学校ができて分散という形ができれば、逸見小の子が坂本中に通うのは遠いと思いますので、そのような遠い子が集まれるのではないかと思います。

小学校入りたての子が、山から歩いて遠くまで通うのは危険かなと思います。小学校の危険マップを作成したことがあります。多くの危険箇所がありました。遠いところからの通学だと心配です。

中学校区で分けられていますが、柔軟に考えられないのかなと思います。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

ご意見として伺いたいと思います。

(委員)

自治会長の皆さんに聞き、統合に関しては反対意見もありますけれども、概ね肯定的な考えです。ただ、田浦小学校区から長浦小に通うのにトンネルを3つ通ります。

トンネルの狭い歩道で自転車が走っている。安全面についてどう考えているのかをお聞きしたいです。

#### ○大堀教育政策課主査(事務局)

教育環境整備計画は子どもたち教育環境の安全安心のためということでもありますので、計画を推進するにあたり、通学上、危険ということであれば対応しなければならないと考えています。

地域の実情を教えていただきながら、対応していきたいと思っています。

(委員)

長浦小は田浦行政区となっている。長浦連合自治会は安針台自治会と吉倉町内会と別れています。しかし、健民運動会等の行事では、長浦小学校区で開催しています。

防災訓練は吉倉町も参加し、行政区が異なるが一緒に活動していますが、日常の活動の中では意思疎通が図れていません。

長浦連合自治会として情報交換をしていますが、安針台と吉倉町との日常の交流がほとんどありません。行政区が異なるせいか市や警察の取り組みの中で、自然と壁ができています。長浦小へ提供した情報が安針台と吉倉町に伝わっていないことがあります。

当時、安針台と吉倉町は逸見行政区としての了承を得て作ったと聞いていますが、学校区のことまで考えていなかったのかなと思います。

先ほど、田浦小学校区が分かれることは絶対反対だという意見がありましたが、田浦町の子どもたちが全員そろって、行事の参加や交流できなくなるから反対だということでしょうか。

(委員)

港が丘1丁目と2丁目は、1丁目が田浦小で2丁目が船越小となっています。自治会は、田浦連合自治会となっているが健民運動会では、2丁目の子は船越小に通学しているため田浦小に来ません。

そのような問題があるため、分けたときに、どうなるか想像が付きません。

(委員長)

そろそろ終了のお時間が近づいてまいりましたが、ご意見質問、意見はよろしいでしょうか。

ここで話し合われた内容について、事務局の方でまとめていただき、次回の資料として、提示してください。

それでは、協議については、ここまでとします。

本日予定をしておりました議事を全て終了しましたが、全般的なことでご質問やご意見はございますか。

よろしいようですので、これで第1回田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会は終了とし、進行を事務局へお返しします。

#### ○飯田教育政策課長（事務局）

それでは、事務局から連絡事項についてご説明します。

本日の会議録についてです。確認用の会議録が作成できましたら、お送りします。内容をご確認いただき、修正がある場合には、送付文に記載の期日までに、事務局へご連絡ください。修正しました会議録を皆さまへお送りし、ホームページ等で公開します。

次回の開催予定ですが、この場にて、皆さまのご都合を確認したいと思います。

◀ 次回の開催日の確認 ▶

#### ○飯田教育政策課長（事務局）

それでは、次回は、7月13日（水）19時から田浦コミュニティセンターにて開催します。開催通知は後日、お送りします。

よろしくお祈いします。

委員長、委員の皆さま、ありがとうございました。

以上で第1回田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会を終了します。

以上